

【第142回生涯教育講座】

大腿骨近位部骨折のリハビリテーション

ま 馬	にわ 庭	そう 壯	きち 吉	たて 蓼	ぬま 沼	たく 拓
さか 酒	い 井	やす 康	お 生			

キーワード：大腿骨近位部骨折，リハビリテーション，骨粗鬆症リエゾン，転倒予防

要 旨

大腿骨近位部骨折は高齢者の転倒で生じることが多く，要介護4，5になる主要な原因の一つである。本邦ではほとんどの患者に手術が行われているが，廃用症候群予防のために術前から連続したリハビリテーション治療を行うことが必要である。急性期，回復期，生活期にわたり多職種連携診療が行われると，生命予後や歩行能力が改善される。

大腿骨近位部骨折の予防には転倒予防や骨粗鬆症の治療が重要であり，島根大学病院でも現在取り組んでいる転倒予防対策，骨粗鬆症リエゾンサービスの効果が期待されている。

は じ め に

転倒による骨折は，高齢者が要介護4，5になる原因の第3位で，全体の1割以上を占めている。そのなかで大腿骨近位部骨折，とりわけ大腿骨頸部骨折と大腿骨転子部骨折の頻度が高い。受傷1年後の死亡率は，それぞれ8.1-31.5%，10.1-31.5%とされており¹⁾，大腿骨近位部骨折に対する取り組みは重要な課題である。

大腿骨近位部骨折の分類

大腿骨近位部骨折は，骨頭骨折，頸部骨折，頸基部骨折，転子部骨折，転子下骨折に分類される(図1)。頸部骨折と転子部骨折は高齢者の転倒で

生じることが多く，この講座では両者について解説する。頸部骨折は関節包内骨折であり，関節包外骨折である転子部骨折とは血管支配が異なるた

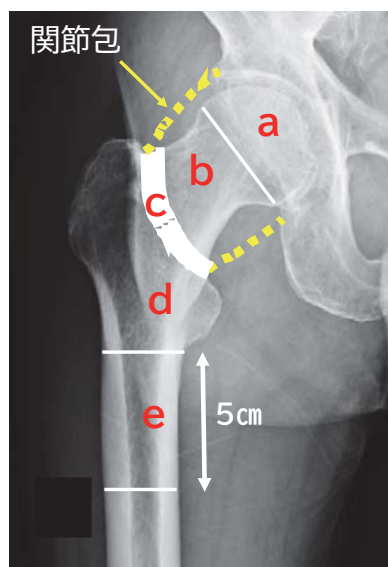


図1. 大腿骨近位部骨折の分類

a 骨頭骨折，b 頸部骨折，c 頸基部骨折，
d 転子部骨折，e 転子下骨折

Sokichi MANIWA et al.

島根大学医学部リハビリテーション医学講座

連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部リハビリテーション医学講座